

## JJAP 特集号への投稿のお誘い

2011 年国際固体素子・材料コンファレンス(SSDM 2011)において発表される論文は、引き続き Japanese Journal of Applied Physics (JJAP)の SSDM 2011 特集号に投稿することができます。研究成果をより広く周知していただくためにも、貴論文を Full Paper として特集号に投稿されることをお勧めします。特に今回より、速報性を高めるため 2012 年 2 月号と 4 月号とに特集号を分冊化することになっており、早めに採択が決定されれば従来の 4 月号から 2 月号へと早く掲載されることとなります。なお、会議に採択された論文でも、発表されなかった論文は取り消しと見なされ特集号の対象にはなりません。

御投稿に際しましては、下記投稿に関する注意をお読みになり、JJAP 投稿規定に沿って投稿下さるようお願いいたします。(招待論文の方については、オリジナルな部分についての投稿となります。)

**JJAP 特集号への投稿締切は9月26日(月)です。**

JJAP Part 1 特集号に御投稿される場合のスケジュールは下記のようになります。

2011 年

9月26日 ●特集号への投稿締切 (JJAP 編集部)

9月28日-30日 ●2011年国際固体素子・材料コンファレンス (SSDM 2011)

2012 年

2月29日 ●特集号(2号)発行

4月30日 ●特集号(4号)発行

## SSDM 2011 発表論文の JJAP特集号への投稿に関するご注意とお願い

- ① JJAP 特集号に投稿する論文は、SSDM 2011 Extended Abstract と全く同一のものではないようにして下さい。内容は、データや記述の追加、より詳細な議論の展開などが含まれた、オリジナルなものを求めます。なお、著者の少なくとも1名が会議において発表を行わなかった場合には論文は取り消しと見なされ、特集号の対象にはなりません。
- ② 特集号に投稿された論文は、JJAP の通常の閲読手続を経て採否が決定されます。投稿された論文がすべて掲載許可となるわけではありません。
- ③ 特集号へ投稿された論文が、閲読者との討論やそれに基づく修正などにより、閲読後の最終原稿の締切を過ぎた場合は、原則特集号に収録されませんのでご注意ください。
- ④ 今回より特集号が2分冊化されます。このため早めに採択が決定すると、従来の4月号ではなく、2月号に掲載されることとなります。
- ⑤ 招待論文の場合は、その内容のオリジナルな部分について投稿を歓迎します。その場合にも、上記①-④項が適用されます。
- ⑥ 掲載料(別刷り代)や投稿手続は、JJAP の投稿規定に従っていただきます。
- ⑦ 原稿作成にあたっては下記 URL を必ずご一読ください。  
<http://jjap.ipap.jp/special/index.html>  
投稿は下記 URL からお願いします。  
<http://jjap.ipap.jp/special/ESubmissionSIssue.html>  
投稿にはユーザ登録が必要です。Web 以外から投稿された原稿は受け付けられません。
- ⑧ JJAP の発行元である IPAP の調査で、同分野の著名な論文誌、例えば J. Appl. Phys. に比べ JJAP では reference の数が少ないことが判明しています。J. Appl. Phys. の平均 reference 数は約 25 です。論文執筆の際には、著者自身の既発表論文と関連論文をできるだけ多く引用し、他の論文との違いを明確にしてください。結果的には、それが論文の価値を高めることとなります。

SSDM 2011 JJAP 特集号編集委員長  
本久 順一  
SSDM 2011  
論文委員長  
福井 孝志